

県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒422-8062
静岡市駿河区稲川2-2-1
セキスイハイムビルディング7階
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
Eメール kenpyo@mail.wbs.ne.jp



最賃マップを前に「全国一律最賃」を訴える湯澤パリン連代表幹事
=7月7日、青葉公園

地域間 神奈川の格差 126円

最低賃金 静岡県885円に

すべての都道府県で地域別最低賃金の答申がだされ、目安に上乗せした地方は19地方でした。(A・28円、B・27円、C・D・26円という目安となりました。静岡県はB)

最低賃金

静岡地方最低賃金審議会は、8月8日県の最低賃金を27円引き上げ(中央最低賃金審議会の目安どおり)時間額858円から885円とする答申をしました。引き上げ額・率ともに最大であるとはいえ、首都圏の東京都は1013円、神奈川県は1011円と1000円を超え、静岡県との差は、更に拡大しました。これでは、労働人口の県外流出は更に加速されるものと思われる。地域間格差是正、低賃金労働者の処遇改善、地域経済の活性化のためには、最低賃金の大幅引き上げが必要です。そのためには「全国一律最低賃金制度」や、中小企業の支援策も必要です。

静岡県評では、この答申

に対し異議申立を提出しました。

真夏の最賃マップ 宣伝行動

8月8日、静岡県最低賃金審議会の開催前の7月7日、蒸し暑さの中、静岡市の青葉公園で賃金マップを作成し、視覚に訴えて宣伝をしました。

実はあまり知られていない私学

教育全国署名スタート集会

31年目となる「ゆきとどいた教育を求める請願署名(教育全国署名)」の静岡県スタート集会が静岡県教育会館で8月31日に開かれました。

今年是全国私教連書記長の山口直之さんをお呼びしました。実はあまり知られていない私学のこと、私学に通う子どもたちのことをお話ししていただきました。

私学に通う子どもたちは、家庭の中で後ろめたい思いでいます。それは公立に比べても高い学費のせいです。ごくわずかな有名私立学校のイメージで見られますが、私学の生徒の多くは家庭の所得が高いわけではありませぬ。親に申し訳ないという思いでいるのです。また、私学に行くのだから、高い学費を払っても当然という目で見られがちです。

静岡県下のパート・アルバイトの採用時給を金額別に色別したものを地図上に分布し、神奈川県と愛知県との差が一目で分かるようにしました。

静岡県の賃金水準は低く神奈川との差126円・愛知県とは41円あります。

最低賃金が1500円になったら

「最賃1500円になったら」とのアンケートを行い、非正規で働く男性からは「婚活をしたい」若い女性からは「もつと自分の好き



私学も、公の教育だと語る山口さん=31日

しかし、私学だからといった教育を求める請願署名(教育全国署名)の静岡県スタート集会が静岡県教育会館で8月31日に開かれました。今年是全国私教連書記長の山口直之さんをお呼びしました。実はあまり知られていない私学のこと、私学に通う子どもたちのことをお話ししていただきました。

「最賃1500円になったら」とのアンケートを行い、非正規で働く男性からは「婚活をしたい」若い女性からは「もつと自分の好き

全国一律最低賃金を実現しよう



なことに時間を使いたい」など切実な声が寄せられました。対話をしながら署名を行

い、働いたらまともな生活ができる賃金の必要性を訴えました。

市民のためにならない「包括業務委託」

島田市当局は昨年、非正規雇用の嘱託員・臨時職員が行っている業務を民間企業に一括して委託する「包括業務委託」の実施を提案しました。島田市労連と静岡自治労連が、嘱託員・臨時職員の雇用と労働条件を守るため、島田市当局へ要請書を提出しています。



「自治体業務の包括委託を考える」学習会で講演する尾林芳匡弁護士=23日、おおるり

「包括業務委託」は、嘱託員・臨時職員の雇用と労働条件の確保や、窓口業務の偽装請負、公務の一部を民間企業が行うことによる個人情報漏えいなど、数多くの問題があり市民のためになりません。島田市は、全国に先駆けてこれを実施しようとしています。問題ある制度を全国へ波及させないために、阻止の運動を高めていかなければなりません。

島田市当局は昨年、非正規雇用の嘱託員・臨時職員が行っている業務を民間企業に一括して委託する「包括業務委託」の実施を提案しました。島田市労連と静岡自治労連が、嘱託員・臨時職員の雇用と労働条件を守るため、島田市当局へ要請書を提出しています。



その後、静岡駅の地下道で核兵器廃絶の宣伝と署名集めを行いました。

世界大会へトラックキャラバン

建交労青年部

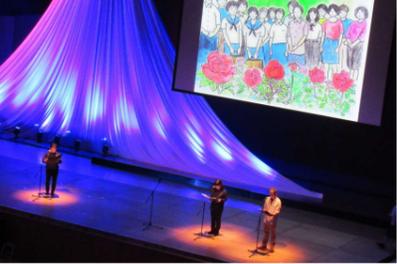
広島の世界大会に向けた建交労青年部の反核トラックキャラバンは7月30日に静岡に到着しました。県評を代表して杉山常任幹事が、みんなで作った千羽鶴をキャラバン隊に手渡し広島へたくしました。(写真)



満員の会場で開催された第65回日本母親大会=25日、静岡市葵区

原点の地 焼津で開かれる 第65回日本母親大会

第65回日本母親大会が8月24・25日静岡市のグランシップ・あざれあ焼津文化会館で開催され、全国から延べ9000人（1日目4700、2日目4300人）が、静岡県内からも1100人が参加しました。



舞台に見事な富士山が出現

母親大会は、1954年3月1日アメリカのビキニ環礁での水爆実験をきっかけに、全国の母親が核戦争の危機から子どもの生命を守ることを求めて立ち上がり始まりました。今年はその原点の地での開催となりました。

25日、グランシップ大ホールで行われた全体会で富田宏治さん（関西学院大学教授）が「ビキニ被災から65年―核兵器のない平和な未来を」と題し記念講演を行いました。

兵器禁止から廃絶への年にしよう」と話されました。また、中ホールでは朝倉むつ子さん（早稲田大学名誉教授）が「女性差別撤廃条約採択40年―ジェンダー平等の実現目指して」と題し記念講演をし「ジェンダー

平等を求め行動する女性たちの闘い」が紹介されました。オープニングとして浜松センター合唱団「濱鼓唄」の太鼓演奏、ハレルヤ君が津軽三味線を披露しました。文化行事として横尾歌舞伎（静岡県指定無形文化財）や三社祭礼囃子が行われ会場を魅了しました。

最後に「核兵器も基地も原発もない平和で明るい未来を子どもたちに手渡そう」と大会アピールを採択しました。

24日には30の分科会と見学分科会5コースが開催され食の問題・社会保障・憲法・教育子育てなど、様々な課題について学習・交流をしました。

この2日間県評から交通要員として90名が参加し、大会をスムーズに運営することに貢献できました。

技能実習制度の 実態と「改正」入管法

静岡県労働研究所 53

静岡県労働研究所の第10回総会が8月3日に静岡労働会館にて開催され、榎松佐一氏（写真）が記念講演を行いました。

10年ほど前に「ベトナム人が愛知から逃げてきた」と神奈川県から電話があり、その相談を受けてからずっと外国人の支援をしています。日本では就労する外国人は昨年146万人となり、この5年間で倍増しています。

技能実習生は、母国の送り出し機関と訪日契約をし、日本の監理団体が住居と通訳を保障し、実習実施機関

である企業と雇用契約を結びます。このように4者の契約がポイントです。送り出し機関に登録するまでに約100万円を払うことになるのですが、ベトナムの給与30ヶ月分の借金を背負うことと同じです。

岐阜アパレルの残業代が1時間500円でした。労基署へ申告したところ、すぐに会社が倒産し、6人全員解雇となり帰国せざるを得ませんでした。しかしその後、会社の隠し財産を見つけて未払い賃金を送金することができました。

産廃処分先の会社で、日本

職場の安全衛生を実現するために

静岡県安全健康センター No.64

過労死等防止対策 推進シンポジウム

厚生労働省主催で過労死等防止対策推進シンポジウムが行われました。

今年基調講演は、民医連三島共立診療所の医師長谷川吉則医師が「過労死・過労自死の予防に向けて」と題して、医学的な立場から過労はどのようにして健康を害し、身体と精神を傷つけていくかを解き明かします。

事例報告として、1つめは大橋弁護士（鷹匠法律事務所・アスベスト弁護団長）が、静岡市役所で起こった過労自死で、はじめて公

務災害を認定させたい事件について詳細に報告します。

2つめには、青山一子氏（れんげ子ども園・園長）が「勤務間インターバルでいきいき職場作り」と題して、働き方改革の一端として、保母さんの多忙解消の取り組みを報告します。

過労死遺族からも報告があります。

働き方改革がどのように現れてくるのか、現在試されています。政府や財界はこれによって益々安上がりで彼らにとつて効率の良い労働を目指しており、注意が必要ですが、現場

各職場の役員及び安全衛生担当の方達の積極的な参加を呼びかけます。

日時：11月14日（木）
13時30分～16時30分
場所：パルシエ7階
会議室（JR静岡駅）

悲惨な体験を 女優さんが朗読



語が上手にできない人に、社長がショベルカーをぶつけて、鎖骨骨折で2ヶ月入院したという事件がありました。写真が送られてきて、ベトナム語で「助けてください」と書いてありました。

「夏の雲は忘れない」
この朗読劇は、被災者たちの悲惨な体験だけではなく人と人との絆、愛情の深さを伝え明日への希望に溢れていました。

8月17日、広島・長崎の原爆の惨禍を伝える朗読劇「夏の雲は忘れない」公演を、しずぎんホールユーホニアであり、会場は満席となりました。

渡辺美佐子さんから、ベテラン女優18人が広島・長崎の原爆の惨禍を伝える朗読劇は、今夏、34年の歴史に幕を下ろします。戦争を伝える旅に区切りをつけることになりました。



「夏の雲は忘れない」
今年が最後の日になりました。長い旅の終わりを告げたいです。

**静岡県評第72回
定期大会開催**
日時：9月21日（土）10時
会場：あざれあ 大会議室

貸会議室 のご予約・お問い合わせは
一財) 国鉄労働会館静岡地方部へ
TEL 054 (285) 4426 FAX 054 (283) 6835
★ 静岡駅南口から徒歩1分
定員14名 (2室) 20名30名 (各1室)
少人数の打合わせ・会議・講習会におすすめです

生活・法律相談
■ 労使トラブル・解雇・賃金不払い・セクハラ
パワハラ・借金問題・教育問題など、受付けます。
○ 受付 国鉄労働会館静岡地方部
☎ 054 (285) 4426
○ 相談場所 静岡合同法律事務所
○ 相談員 阿部浩基弁護士
相談日・相談時間は
双方のご都合により
対応させていただきます